学生たちと、「相互輔生」を実感！

以前に授業したある学生から、数ヶ月ぶりにひょっこりと次のようなメールが入った。

【　いよいよこれから就活に入ります。
☆履歴書の興味のある教科を先生の授業にしました＼(*^▽^*)/
ほんとに心に残っていて一回一回の授業が胸に響きました。そのすべてをまとめたくてもなかなかまとめられなくて(>_<")
先生が授業の中で特に大切にしていることぁ何でしょぅか？
自分の感じたことを書けばいぃのだと思うのですが、なかなかまとめられなくて。
☆先生の授業では本当にたくさんのことを学ぶことができましたが、繋がっているのぁ命の大切さ、生きることだなと思いました。
また他人の幸せ＝自分の幸せだと感じられる人間になりたい、それがとても必要だと感じました。
全部大事でどぅしよぉと思いまして(。・_・。)ノ（笑）　】

半期のしかも週一コマの非常勤の身で、たくさんの受講学生たち相手の授業で学生の顔と名前が一致するまでに至らないのに、大事な履歴書を書く時に思い出してくれたことは自分には身に余る喜び。
だが、こう聴かれても自分のことをあれこれ返信するのは気恥ずかしいので、他校の授業でのある学生の次の感想を参考までに転送するだけにした。

【　こんなにも“ 生きる事・人・命・関わり合い”を深く語って下さる方は初めてでした。
毎回、どんな授業内容でも、必ず結びつくのは“ 生きる”ということだなあと思います。
自分に足りないないモノ、心惹かれるモノが、先生の授業にたくさん詰まっていたからこそ、興味を持ち、大好きになったのだなあと、そう感じます。
正直、日々、「生きるって難しい… 」と、涙したり悩んだりしています。
自分、人の関わり合いなど、考える内容や事情は様々ですが、先生の授業から、次へ向かうためのステップや、何かしらのヒントを頂いている気がします。
その度に、自分を叩いたり見つめたり、少しずつ歩んで来ていると思えます。　】

「相互輔生（生きようとする生命が互いに輔け合いながら、生きるとはどういうことかを問い続ける活動）」を座右の銘の一つにしている自分だけに、本当に学生たちと、「相互輔生」を実感！

（2006 年 10 月 20 日　記）